

皮装束の男 1985

2011年8月13日(土)~10月2日(日)

東京都写真美術館 地下1階展示室

開館時間 10:00~18:00(木・金は20:00まで)
 入館は閉館の30分前まで *最新の開館情報はお問合わせ下さい。
 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日または振り替え休日の場合翌日休館)
 観覧料 一般 800(640)円、学生 700(560)円、中高生・65歳以上 600(480)円
 ()内は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員
 小学生以下および障害手帳をお持ちの方とその介護者は無料
 65歳以上の方は第3水曜日無料
 お問い合わせ先=電話03-5784-2466(クレヴィス) www.crevis.jp

鬼海弘雄写真展 Tokyo Portraits

東京ポートレート

主催/クレヴィス 共催/東京都写真美術館 協賛/キヤノンマーケティングジャパン株式会社、富士フィルム株式会社

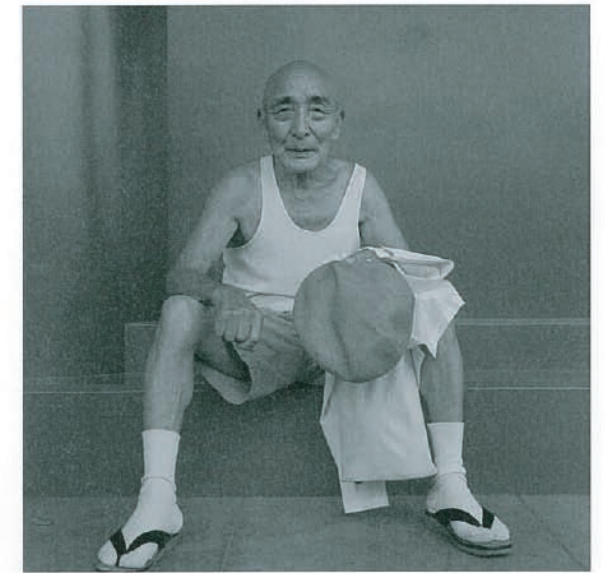
東京都写真美術館

写真にしか表現できない「ちから」がある……写真があまりにも身近すぎる存在になってしまった現在、霧散してしまったこの直接的な問いかけに真っ向から取り組み、新たな写真表現の地平を探索し続ける写真家が鬼海弘雄です。

鬼海は大学卒業後、トラック運転手、マグロ漁船の乗組員などさまざまな職業を転々とする中、ダイアン・アークスの作品に大きな衝撃を受け、写真家として身を立てる決意をします。以来、現在まで写真表現をひたすら追及することに身を投じてきました。

『鬼海弘雄写真展 東京ポートレート』は、40年以上にわたって、強烈な存在感と詩情をあわせもつ浅草の人々を撮り続けた『PERSONA』、人の営みの匂いを写し出す町のポートレート『東京迷路』『東京夢譚』、ライフワークであるこの2本のシリーズから精選したモノクロ作品約180点を一堂に展示、写真家・鬼海弘雄の世界を展覧致します。

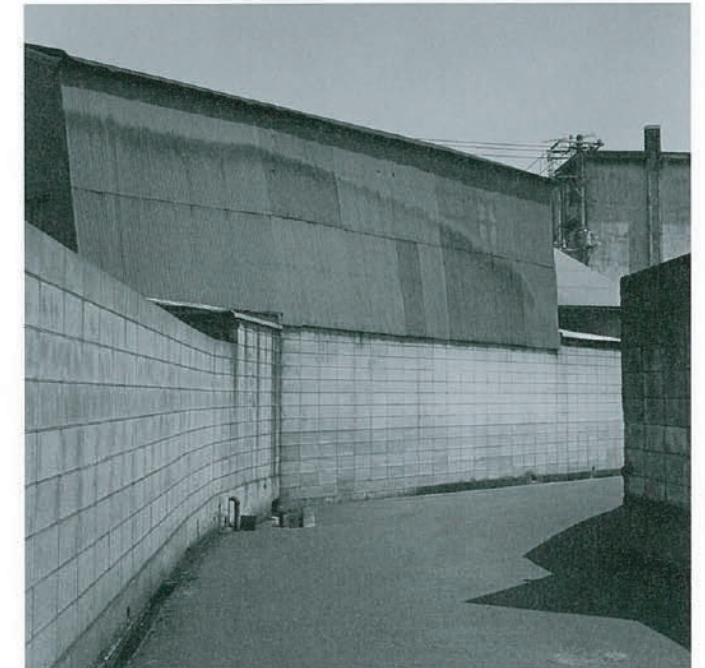
本展は、鬼海弘雄の初の大規模な集成展となります。鋭い観察眼と愛情がとらえたその作品群は、圧倒的な力で見せるものに人間という摩訶不思議な存在の本質を訴えかけます。



大工の棟梁 1985



豊島区池袋 1989



世田谷区瀬田 1985



遠くから歩いてきたという青年 1999



たぐさんの衣装を持ったお姐さん 2001

Photo © Hiroh Kikai



東京都写真美術館
 地下1階展示室
 www.syabi.com

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
 Tel: 03-3280-0099(代)

*JR恵比寿駅東口より徒歩約7分。東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。
 *当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

鬼海弘雄(きかい・ひろお)

1945年、山形県寒河江市生まれ。土門拳賞、伊奈信男賞、日本写真協会賞年度賞を受賞。主な著作に『王たちの肖像』(1987年)、『INDIA』(1992年)、『や・ちまた一王たちの回廊』(1996年)、『東京迷路』(1999年)、『印度や月山』(1999年)、『しあわせインド大地の子どもたち』(2001年)、『PERSONA』(2003年)、『東京夢譚』(2007年)、『Asakusa Portraits』(2008年)、『アナトリア』(2010年)。

*トークショー

鬼海弘雄 × 堀江敏幸(作家)

日時:9月10日(土) 14:00~15:30(開場13:30)

会場:1階アトリエ 定員:60名

申し込み方法:当日10時より館内地下1階カウンターにて展覧会チケット(当日消印)をお持ちの上、展示室入り口にお集まりください。

*アーティストトーク

鬼海弘雄 × 間村俊一(装丁家)

日時:8月28日(日) 14:00~15:00

会場:本展会場内

鬼海弘雄

日時:8月14日(日)、9月18日(日) 各日14:00~15:00

会場:本展会場内

展覧会チケット(当日消印)をお持ちの上、展示室入り口にお集まりください。